

第二中学校 生活のこころえ

1 登 校

- 7時20分、昇降口開錠。
- 8時05分入室完了するように、余裕をもって登校する。(8時10分より朝の学習開始)
- 登校の服装は制服とする。朝の学活は制服で行う。ジャージへの着替えについては、7 服装等(2)を参照。(校内体育祭など、指示のあった日はジャージ登校を認める。)
- 道路を横切るときは、横断歩道や地下道を利用する。踏切のない線路は絶対に横切らない。
- カバンは両肩に背負い、横に広がらないで歩く。
- 見知らぬ人に名前を明かさないようにするため、学校外ではネームプレートを外す。登校後はネームプレートを必ず付けること。
〔※令和5年度入学生から、ネームプレートは通年を通して安全ピンで止めるタイプのみ〕
とします。新3年生も制服に縫いつけずに、安全ピンで止めてかまいません。〕

2 登 校 後

- 上履きを忘れた場合は、職員室でスリッパを借りる。
遅刻：8時10分を過ぎてから教室入室する場合。(保健室と職員室に立ち寄り報告する)
早退：その日の授業をすべて受けられずに下校した場合。
※欠席・遅刻の連絡は、朝8時までに必ず保護者に入れてもらう。
※校長先生の判断によっては、登校しても出席扱いとならない場合もあります。
- 貴重品(集金も含む)を持参した場合は、登校後すぐに担任に預ける。
- 通学カバンや荷物は自分のロッカーに整理する。

3 休み時間

- 他学級の教室や特別教室、他学年フロアへはトラブル防止のため勝手に出入りしない。
- 特別教室への移動の際、他学年フロアを横切らない。
- 上履きで外には出ない。また、清掃時以外、危険防止のためベランダには出ない。
- 昼休みの校庭遊びはあくまでもレクリエーションの範囲とし、安全を心掛けながら、午後の授業に支障のないよう軽めに行う。(体育館は使用しない。)

4 清 掃

- 授業終了後、放送部の指示で清掃担当区に移動を開始する。
- 清掃担当区の指定された場所に、整列の音楽が鳴り終わる前に整列を完了する。
- 清掃中は役割分担を明確にし、無言で行う。
※巡視の先生に対してのあいさつも声を出さず会釈のみにする。
- 放送部の指示で整列を完了し、静かに反省を聞く。

5 放課後・部活動・下校

- 登下校時の荷物の負担を減らすために、その日に家で使用しない教科書類は置いていくことができる。ただし、机の中に入れておまかせずに、必ずロッカーにしまう。
- 学活終了後は教室に戻ることがないように、帰る準備をして速やかに活動場所へ行く。
- 居残り活動をする場合、担任や学年の先生に許可をいただく。また、部活動顧問にも報告してから活動する。活動終了後は、使用場所の戸締り・消灯を確認し、許可をいただいた先生に必ず報告する。
- 各部活動の約束事項を守り、しっかりと活動する。
- 完全下校時刻を守り、終了後は速やかに下校する。
※下校時刻とは、校地から出る時間である。
- 天候が突然悪くなるなど緊急の場合以外、完全下校時刻を過ぎての公衆電話の利用はしない。
- 下校するときは寄り道をしないでまっすぐ帰宅する。買い食い等は絶対にしないこと。
- 地域の方に迷惑をかけないように、横に広がらないで下校する。
- 下校の服装は、ジャージか部活動のユニホームのままでかまわない。制服に着替えて下校する生徒は速やかに着替えをする。
※盗難やトラブル防止のため、ジャージや制服を教室のロッカーなどに置いて帰らない。

※完全下校時刻：4月～10月	18:30
11月～3月	18:00

- 徒歩あるいは自転車で下校することが望ましいが、急用や降雨などにより家の人の車に乗って下校する場合は、近隣の商業施設等の駐車場で乗車せず、交通量の少ない路地で安全を十分に確認したうえで、乗車するようにする。(登校時も同様。)

6 服装等

(1) 制服 (冬季10月～5月)

「男女共通」

- 制服の下にジャージは着用しない。
- ソックスは、白、黒、紺、茶、灰色とし、膝下までの長さのものとする。(ワンポイントまでは可、1周回る線や絵柄は不可。くるぶしを保護する目的からアンクルソックスは認めない。)

「男子」

- 学校指定の標準マークのついた学生服を着用する。ボタンは学校で定めたものとする。
- ベルトの色は黒、紺とする。
- 名札・校章・学年組章は、制服に次のようにつける。
※名札→左胸ポケット 校章→えりの右側 学年組章→えりの左側
- 上着の下は白ワイシャツ、半袖運動着又はセーター・トレーナーとする。

「女子」

- 須二中標準服を着用する。スカートはひざが隠れる長さとする。
- 厳寒期は、ソックスの他に、黒の無地のストッキングやタイツを着用してもよい。(ニーハイは不可。)
- 名札・校章・学年組章は冬服の場合は黒の台布を左胸ポケットにつける。
- 上着の下は半袖運動着又はセーター・トレーナーとする。



標準マーク

(2) 制服 (夏季6月～9月) ※詳しくは5月に出される「衣替えについての確認事項」を参照。

「男女共通」

- 名札を左胸ポケットにつける。制服の下は半袖運動着を着用する。
- ソックスについては(1)「男女共通」に準じる。

「男子」

- 上は白ワイシャツ(長袖・半袖)、下は標準マークのついた長ズボンとする。
- 白ワイシャツの下は白の下着、Tシャツまたは半袖運動着を着用する。
- ベルトは(1)「男女共通」に準じる。

「女子」

- 夏の須二中標準服を着用する。
- 標準服の下は半袖運動着を着用する。

(3) ジャージとジャージへの着替え

- ジャージは身体に合ったサイズを着用する。(3L以上のジャージを購入する場合は、生徒指導担当から許可書をもって購入する。)
- 登校時は原則的に制服とする。特設部で朝練がある場合はジャージで登校しても良いが、練習終了後は制服に着替え、朝の学活は制服で行う。
- 1, 2校時に実習を伴う授業がある場合は、朝の学活終了後にジャージに着替える。それ以外は、2校時終了後の休み時間に着替えを行う。
- 7, 8月は、朝から暑さが厳しくなるので、熱中症予防のため、朝の短学活終了後、上は半袖運動着、下はハーフパンツか長ズボンのジャージに着替える。ただし、特別な理由がある場合は担任に申し出て長袖ジャージを着用することもできる。

(4) セーター・トレーナー等の着用

- 寒いときは制服やジャージの下にセーター・トレーナーを着用してもよい。
- セーター・トレーナーの色は白・茶・紺・黒・灰色系統とし、すそやそで口から出ないようにする。
- 下着として着用するヒートテック等の襟の高さは、学生服やジャージの襟の高さからでないものとする。(部活動時、部によっては可となることがある。)

(5) 防寒着

- 中学校生活にふさわしいものを着用する。部活動でそろえたウインドブレーカー(上・下)は可だが、ニット製・革製・ジーンズ製のものや華美なものは着用しない。
※防寒着の色は、部活動でそろえたウインドブレーカーの色以外は、茶・紺・黒・白・灰色系統の

落ち着いた色とする。

※ベンチコートやロングコートのような防寒着は転倒したときに危険なので、登下校では着用しない。(ベンチコートについては、部活動によっては可になることもある。)

○校内では着用しない。(集会等で着用を認める場合は事前に連絡する。)

○防寒着は、学生服の上に着用する。

※カーディガンは着用できない。(制服の中にも着用不可。)



(6) はき物

○上履き、下足ともに学校指定の運動靴を使用する。

※雨や雪の日は、**長靴**、**スノーブーツ**を着用してもよい。

○かかとをつぶさないで履く。

○かかとの部分に名前またはイニシャルを書いて自分のものと分かるようにする。

(7) 通学カバン・サブバッグ

○通学用カバン・サブバッグには、友達のものとは見分けがつくようにするため、卵程度の大きさのアクセサリーまでであれば、1つだけ付けることを許可する。

○サブバッグは、転倒したときに中身が出てしまわないよう、ファスナーやひも等でしめられるタイプにする。

7 その他のきまり

○制汗スプレーや汗拭きシートは無香料のものに限り使用を認める。使用の際は、トイレか部活動で定められた場所で使用すること。汗拭きシートについては使用したシートを放置せず捨てること。

○日ざしの強い時期には、**日焼け止め**・**日傘**・**帽子**の使用を認める。日焼け止めは透明か白で無香料のものとし、トイレか部活動で定められた場所で使用すること。帽子については、運動部で使用しているような帽子にすること。

○年間を通して、熱中症や感染症対策で**水分(水・お茶・スポーツドリンク)**を持参してもよい。ただし、水筒に入れて持参するものとする。(補充用としてペットボトルの持参は可能だが、直飲みせず、補充時以外は常にカバンの中にしまっておく。)

○文房具については、事故防止のため高価なものは持参しないこと。(1000円程度までに留めること。)

○腕時計は許可するが、自己管理とし紛失に気をつけること。なお、高価なもの(スマートウォッチなど)は持参しないこと。

○冬季には、**ひざ掛け**を持参して授業を受けてもよい。ただし、教室内でひざに掛けるためだけに使用すること。

○手袋、マフラー、耳当ての使用を認める。防寒着同様、落ち着いた色のものを使用すること。

○使い捨てカイロの使用を認める。使用後は不燃ごみとなるため、各自家に持ち帰ること。

○ピアス・ネックレス・指輪は着用しない。着用がわかったときは一時預かりとし、保護者に返すこととする。なお、化粧も認めない。

○ゲーム機・トランプ類・お菓子など、学習に必要なものは持参しない。

○携帯電話・スマートフォン・タブレットなどの通信機器は、必要がないので持参しない。学校に持参してしまったことがわかったときは一時預かりとし、保護者に返すこととする。

○カッターやはさみ等は、刃物によるトラブルを防止するため持ち込まない。

○保健室への入室は、担任又は教科担任の許可を得る。

○卒業式や入学式など儀式的行事の際には、白のソックスか黒のタイツ・ストッキングを着用する。

○骨折や病気などの理由により、「車による校地内送迎」や「ジャージ登校」、「エレベーター利用」、「多目的トイレ使用」を希望する場合には担任の先生に申し出る。

○地域の行事(きうり天王祭、花火大会、松明あかし等)に参加する場合は、午後9時までに帰宅する。

○危険な場所、たまり場(ゲームセンター・ボウリング場・カラオケボックスなど)への出入りを禁止する。ただし保護者同伴の場合は18時まで可とする。

○学校内で使用しているタブレットを校地外に持ち出すことを禁じる。休み時間や放課後に学習目的等で使用する場合は必ず先生に申し出る。ただし、特別な事情がある場合は、校長の許可を得て、校地外への持ち出しを可能とする。

○SNSの利用については、相手を誹謗中傷したり、許可なく動画や画像載せたりすることの無いよう十分に気をつけて使用すること。

8 頭髪のきまり

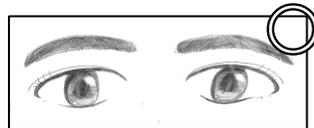
頭髪については様々な意見があると思います。たとえば昨今話題になっているツーブロックについても、「許可してもいい」と考える人がいる一方で「やはり学校生活にはふさわしくない」と考える人もいます。また、ツーブロックを許可してもいいと考えている人の中にも、刈り上げる高さを高く変えると、「あれ?? ふさわしくないかも…」と感じてしまうこともあります。このように、頭髪については、誰もが納得できるようなきまりをつくるということは容易なことではありません。

様々な意見がある中、生徒会執行部と各学級の委員長が中心となって、頭髪についての議論を何度も重ねました(令和4年度)。しかし、髪型は千差万別であるため、そのようにして決めたまきりでもすべての髪型について網羅できているわけではないはずです。

学校とは遊びやおしゃれをするための場ではなく学びの場です。全校生みなさんに考えてほしいことは、「学びの場にふさわしい髪型とはどのようなものなのか」ということです。以下に頭髪のきまりを示しますが、「校則に書いていないからいいだろう」ということではなく、学校生活にふさわしい髪型を意識して生活してください。

「男女共通」

- 前髪は目にかからないようにする。(髪が目に入ると目の疾病や視力低下につながるため)
- かためたり固定したりする目的でスプレーやワックスなどの整髪料は使用しない。(持参禁止)
- 眉毛は気になる場合に整えるのみとし、直線状や八の字の形にしたり、細くしたりするなどして形を変えない。
- 左右非対称(アシンメトリー)な髪型にはしない。
- 頭髪の脱色・変色はしない。
- ウェーブをかける目的でパーマをしない。
- ウルフカットにはしない。
- 剃りこみをいれない。



眉毛は、気になる場合に周囲のうぶ毛を整えるのみとする。



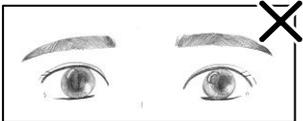
男女ともウルフカットにはしない。



直線状の形にしない

「男子」

- 耳が髪の毛で隠れないようにする。
- 襟足は伸ばさない。
- もみあげは極端に伸ばさず、耳の下のラインより下に伸ばさないようにする。
- ロングヘアーにはしない。
- ソフトモヒカン(モヒカンを含む)にはしない。



八の字の形にしない



ロングヘアーにはしない。

男子頭髪例



長めの髪型



短めの髪型



坊主



ソフトモヒカンにはしない。



ツーブロック

ツーブロックにする場合は、6mm以下でバリカンを入れないこと。眉毛のラインから上は地肌が見えないようにすること。



フェードカット

フェードカットにする場合は、ツーブロックに準じるようにし、急激に長さを変えないよう注意すること。

「女子」

- 髪の毛をとめる物はゴムかアメピンかパッチンピンにする。ただし、パッチンピンは飾りのついてないシンプルなものだけを認める。ゴム、ピンの色は黒、紺、茶とする。
- カチューシャやシュシュは使用しない。
- 三つ編みは2本でも1本でも可だが髪を膨らませずにきつく縛る。編み込みはしないこと。
- ロングヘアーは縛ること。
- 髪が肩につき場合は必ず縛り、セミロングやロングヘアーのような髪型にしないこと。
- ハーフアップにしたい生徒は、肩につかないようにし、編み込んだりお団子にしたりしないこと。
- 女子で刈り上げる髪型にしたい場合は男子のきまりに準じること。

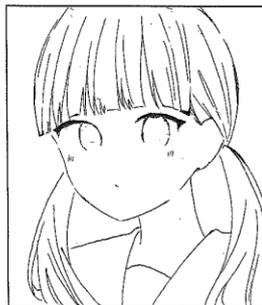


パッチンピンは写真のようなシンプルなものにすること。

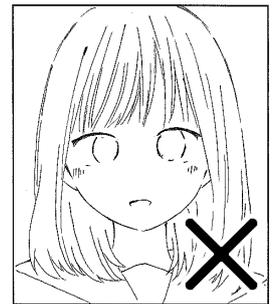
女子頭髪例



ボブ



ツインテール



セミロング

触覚やサイドバングなど、耳より前の髪は垂らさずに、耳の後ろでピン止めする。



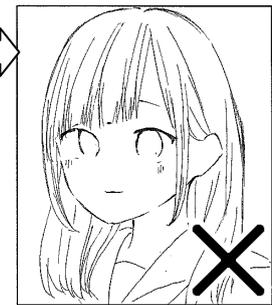
ポニーテール



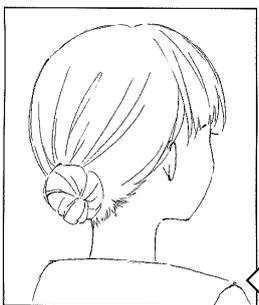
三つ編み(中央1本も可)



ハーフアップ

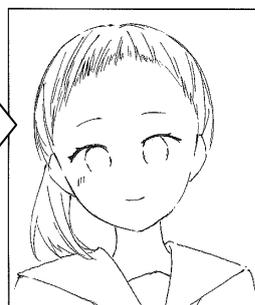


触覚やサイドバング



お団子

前髪を作らない場合は後ろで結ぶか、上や横でピン止めする。結んだりピン止めしたりしない場合は、ボブまでの長さにする。

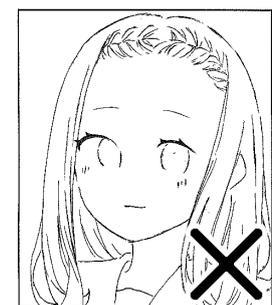


前髪を作らない髪型



髪にカールはかけない。

お団子はこの形のみ認めます。三つ編みにしてからお団子にしないこと。



前髪は上で編んで止めない。

<服装について>

男子の制服

夏 型

冬 型

Yシャツの下は白の下着、Tシャツまたは半袖運動着とする。

前髪は目にかからない。横は耳にかからない程度。

右に校章。左に学年組章。

制服の下はYシャツ、半袖運動着とする。冬季のセーター、トレーナーは白・茶・紺・黒・灰色系とする。※大きな文字や図柄のあるものは着用しない。

ネームプレートをポケット上部に安全ピンでつける。

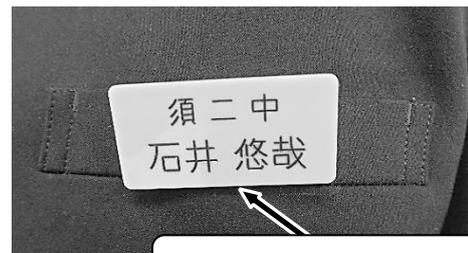
ネームプレートをポケット上部に安全ピンでつける。

体型にあった、標準マークのある学生ズボン。裾が床につかないように。ベルトの色は、黒・紺。

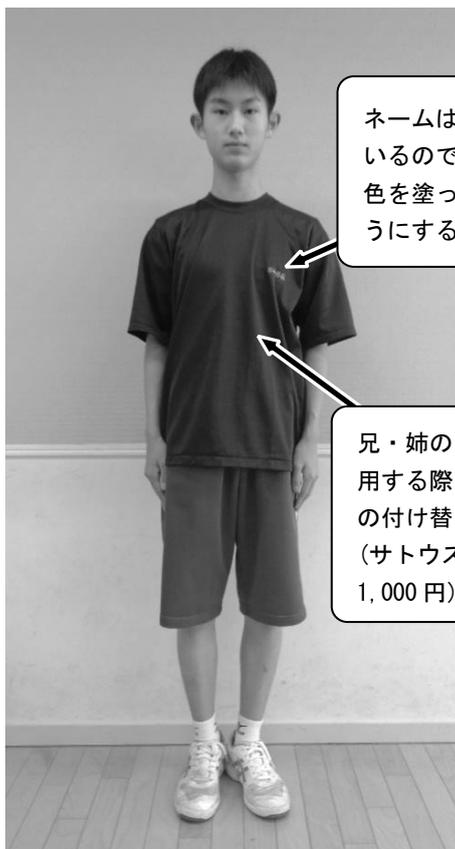
ソックスは白・茶・紺・黒・灰色。1周回る線は不可。くるぶしを隠す長さから、膝下までの長さとする。

夏型運動着

ネームプレートの位置



ポケット上部の縫い目の間につける。



ネームは刺繍になっているので、ほどいたり色を塗ったりしないようにする。

兄・姉のジャージを着用する際は必ずネームの付け替えをする。(サトウスポーツにて1,000円)

学年カラー

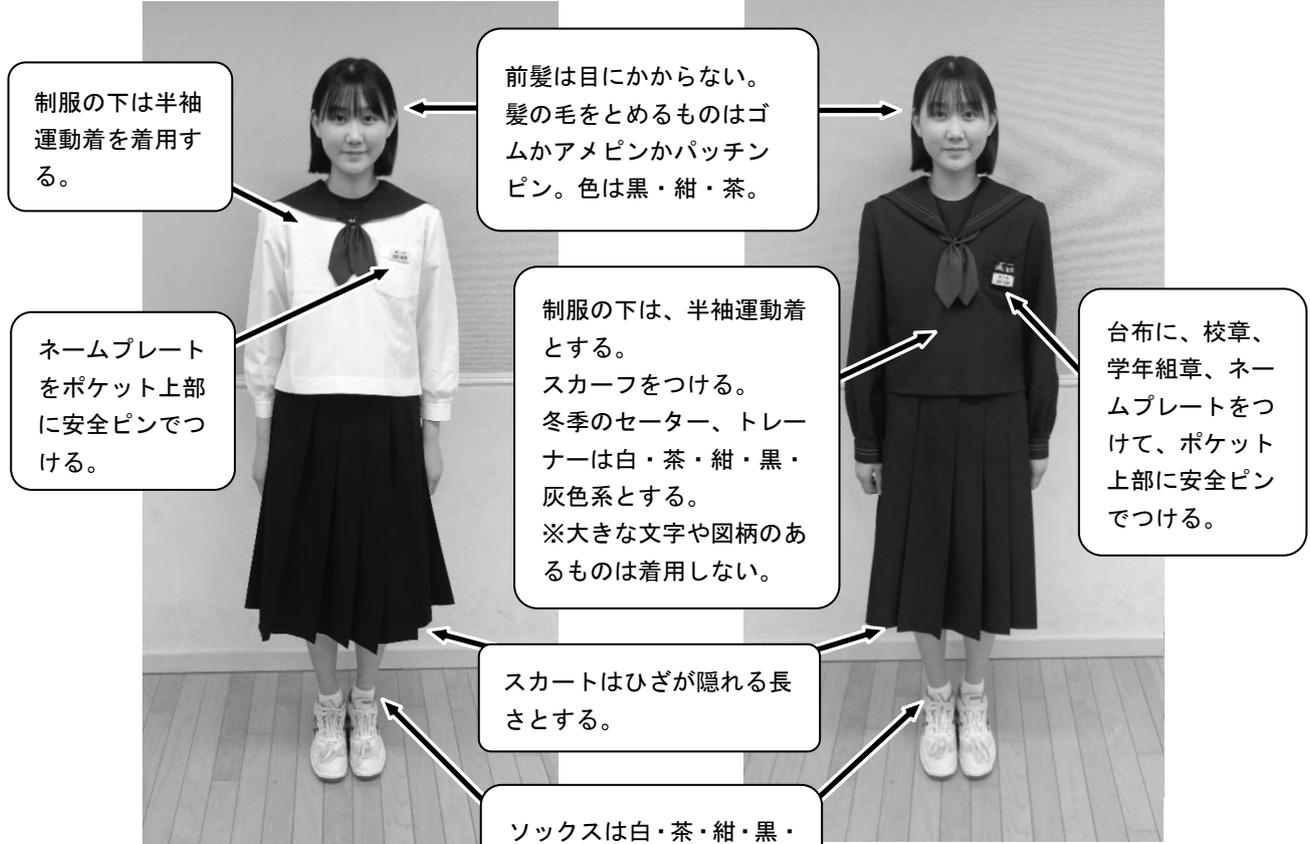
名札	ジャージ ネーム	シューズ
黄色	黄色	青
緑	オレンジ	緑
白	白	赤

※入学から卒業まで学年カラーは変わらない。

女子の制服

夏 型

冬 型



制服の下は半袖運動着を着用する。

前髪は目にかからない。髪の毛をとめるものはゴムかアメピンかパッチンピン。色は黒・紺・茶。

ネームプレートポケット上部に安全ピンでつける。

制服の下は、半袖運動着とする。スカーフをつける。冬季のセーター、トレーナーは白・茶・紺・黒・灰色系とする。※大きな文字や図柄のあるものは着用しない。

台布に、校章、学年組章、ネームプレートをつけて、ポケット上部に安全ピンでつける。

スカートはひざが隠れる長さとする。

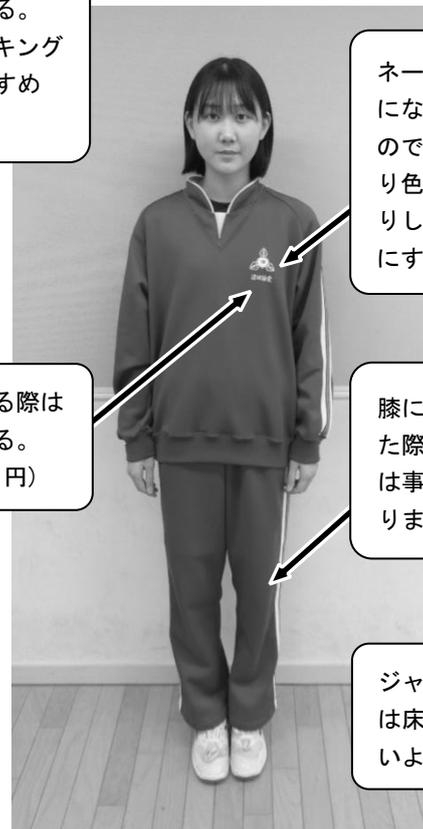
ソックスは白・茶・紺・黒・灰色。1周回る線は不可。くるぶしを隠す長さから、膝下までの長さとする。厳寒期には、ストッキングやタイツの着用をすすめる。

台布への付け方



ネームプレートは台布に安全ピンでつける。

冬型運動着



ネームは刺繍になっているので、ほどいたり色を塗ったりしないようにする。

兄・姉のジャージを着用する際は必ずネームの付け替えをする。(サトウスポーツにて1,000円)

膝に穴が開いた際のアて布は事務室にあります。

制服の下はスカートではなく、セーラー型スラックスを着用してもよい。

ジャージの裾は床につかないようにする。



※現物は写真よりも裾が幅広になります。